

# 有機栽培に適するチャ新品種「せいめい」「さえあかり」

チャ新品種「せいめい」、「さえあかり」は、主要病害の発生が少なく、安定生産が可能で、有機栽培に適する

## 背景・目的

- ・本県では、海外への茶の輸出拡大の中で、有機茶栽培面積が拡大
- ・チャにおける有機栽培は、慣行栽培に比べ病害虫の影響を受け、生産が不安定
- ・有機栽培で安定的に生産するためには、耐病虫性を持つ品種の選定が必要
- ・近年、主要病害に対して耐病性を持つ新品種が育成

## 成果の内容

農薬不使用条件では

- ・「せいめい」は、炭疽病、網もち病の発生が少なく、収量は慣行防除と同等(図1, 2)
- ・「さえあかり」は、炭疽病の発生は少なく、網もち病の発生が認められるが、収量は慣行防除と同等(図1, 2)
- ・「きらり31」は、炭疽病、網もち病が発生し、収量は慣行防除より減収(データ省略)

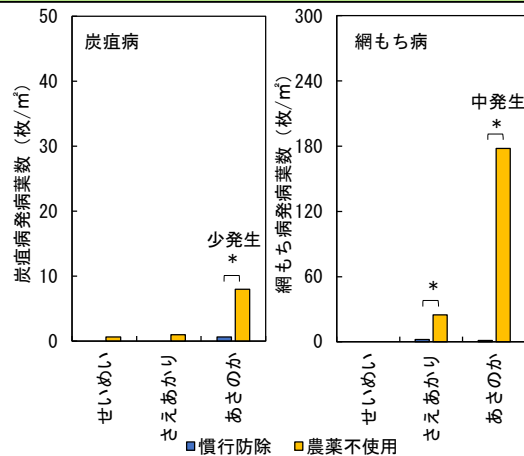


図1 農薬不使用条件が各品種の主要病害の発病程度に与える影響 (R4年秋整枝後)

注) \*は、各品種の無農薬と慣行防除間に5%で有意差があり

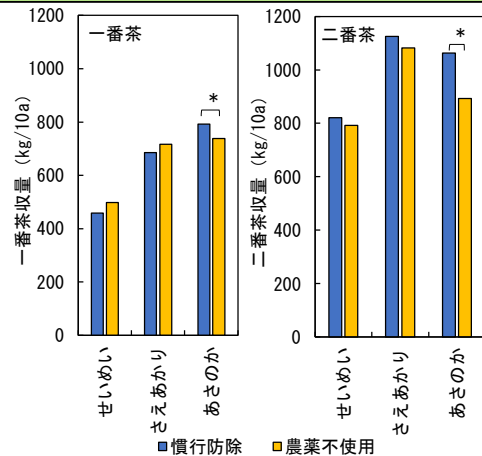


図2 農薬不使用条件が各品種の収量に与える影響 (R5年一番茶、二番茶)

## 期待される効果

- 有機栽培での安定生産
- 有機茶栽培面積の拡大

輸出茶の拡大



- 普及対象・範囲
- 県内茶生産者及び茶業技術員

鹿児島県農業開発総合センター  
茶業部栽培研究室

- 炭疽病や網もち病が多発する場合、銅剤により効果的に防除する